



アナログ RGB ビデオ延長・分配器

# VAC-3001HN

---

取扱説明書 Ver.2.4.1

この度は、アナログRGBビデオ延長・分配器「VAC-3001HN」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。 「VAC-3001HN」は低価格ながら高い品質を持っています。 本製品の性能を十分に引き出してご利用いただくために、ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。

また、お読みになった後は、本製品近くの見やすい場所に保管してください。

安全に正しくお使いいただくために

以下の内容は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様や他の人々への危害や損害を未然に防止するために、重要な事柄が書かれています。設置やご使用前には必ずお読みください。

尚、本警告、注意事項は、弊社製品に広く共通する内容ですので、ご購入いただいた製品によりましては該当しない項目もございますので、ご留意の上お読みください。

	<b>警告</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示します
--	-----------	---

	<b>注意</b>	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が障害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します
--	-----------	--

絵表示の例

	この記号は、警告・注意を促すことを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。	
	この記号は、禁止行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。	
	この記号は、行為を強要したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。	
	右図の場合は「感電注意」⇨	
	右図の場合は「分解禁止」⇨	
	右図の場合は「電源プラグを抜く」⇨	



# 警告

## □異常状態の（煙が出ている、異音・異臭がする）ときは電源プラグを抜く-----



煙がでていたり変な臭いや音がするなどの異常状態で使用を続けると、漏電や火災の原因になります。すぐに使用中止し、機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して、当社営業部に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

## □ふたは絶対に開けない-----



この機器のふたははずさないでください。感電の原因になります。

この機器を分解、修理・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部の点検・調整・修理は当社営業部に依頼ください。

## □指定以外の電源電圧で使用しない-----



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

## □指定以外のヒューズは使用しない-----



表示されたヒューズ以外のものは使用しないでください。

火災・感電の原因となります。

## □機器内部に物や水を入れない-----



この機器の開口部（通風孔など）から金属類や可燃物などの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないで下さい。火災・感電の原因となります。

万一異物が機器内部に入った場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社営業部に連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。

万一機器内部に水などの液体が入った場合は、直ちに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて当社営業部に連絡ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。



電源コードが破損するようなことはしない-----

電源コードの上に重いものを乗せたり、コードが本体の下敷きになったりしないようにしてください。コードが傷ついて、火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。

電源コードが痛んだら(芯線の露出、断線など)、当社営業部に交換をご依頼ください。そのまま使用を続けると、火災・感電の原因になります。

 不安定な場所に置かない-----

本体を不安定な台の上や傾いた場所などに置くと、転倒・落下して怪我をする恐れがあります。また、故障の原因となります。

 雷が鳴り出したら電源プラグには触れない-----

感電の原因となる恐れがあります。

 電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む-----

異常発生時、直ちに電源プラグをコンセントから抜けるよう留意してください。

 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む-----

ショートや発熱により、感電、漏電、火災の原因となります。  
また、たこ足配線はしないでください。

 **注意** 湿気や埃の少ない場所、直射日光の当たらない場所に置く-----

湿気や埃の多い場所や、直射日光の当たる場所に置かないでください。  
火災・感電の原因となることがあります。

 通風孔をふさがない-----

この機器の通風孔をふさがないで下さい。  
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

 お手入れの時は電源プラグを抜く。抜くときは必ずプラグを持って抜く-----

お手入れの際は安全の為に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。  
また電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。  
電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

 この機器の上に重い物を置かない-----

重い物や、本体からはみ出るような大きな物を上に置くと不安定になり、倒れたり  
落ちたりして怪我の原因になることがあります。

 長時間使用しない時は電源プラグを抜く-----

電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因になることがあります。



**□濡れた手で電源プラグを抜き差ししない**

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。  
感電の原因になることがあります。

**□定期的に電源プラグのチェックを行う**

長期間、電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておくと、その間に埃やゴミが溜まってきます。さらに空気中の水分などを吸収すると、電気がながれやすくなるため(トラッキング現象)、プラグやコンセントが炭化し、時には発火の原因になることがあります。事故を防ぐ為、定期的に電源プラグがしっかりささっているか、埃が溜まっていないかなどを点検してください。

**□本体付属の専用 AC アダプタまたは、電源コード以外のものは使わない**

付属のもの以外をご使用になられますと、不適合により火災や感電の原因になることがあります。

\*標準付属品の AC 電源コードは 100V 系国内専用です。海外など 200V 系でご使用になる場合は、弊社までご相談ください。

**□使用温度/湿度範囲、保存温度/湿度範囲を守る**

使用の際は使用温度/湿度範囲、保存の場合は保存温度/湿度範囲を守ってください。範囲を超えて使用を続けた場合、火災や感電の原因になることがあります。

**□他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切る**

他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従ってください。電源を切らずに接続を行うと、火災や感電の原因になることがあります。

**□ゴム足のお取り扱いについて**

ゴム足付きの製品の場合は、ゴム足を取り外した後にネジだけをネジ穴に挿入することは絶対にお止めください。内部の電気回路や部品に接触し故障の原因になります。再度ゴム足を取り付ける場合、付属のゴム足、付属のネジ以外は使用しないでください。

## 目次

1. 概要.....	- 9 -
2. 使用例.....	- 9 -
3. 各部の名称と説明.....	- 10 -
4. 使用時の注意事項.....	- 11 -
5. コネクタの接続方法.....	- 12 -
6. 仕様.....	- 13 -
7. 故障かな？と思う前に.....	- 14 -

## 1. 概要

VAC-3001HNはDOS/Vマシン専用のモニターケーブルを変換なしで直接接続できるよう、専用コネクタを持ったアナログRGB分配器です。

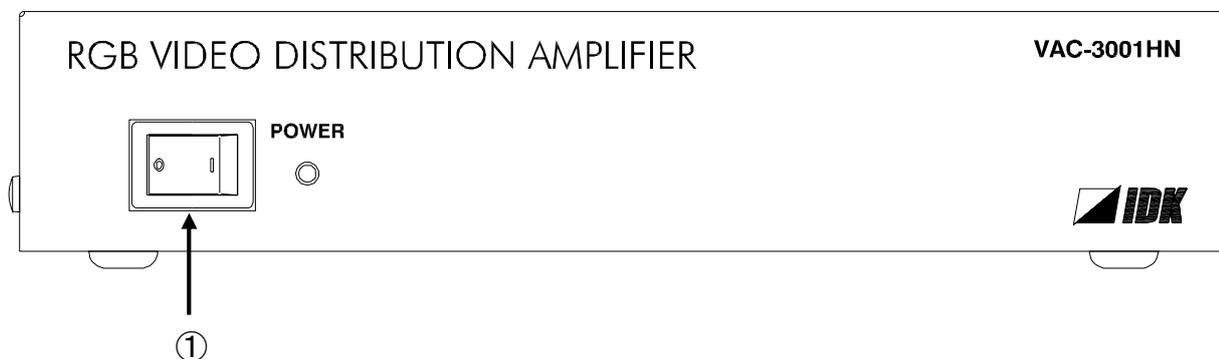
本器は電源を切っても出力が切れないスルーアウト端子を1系統装備していますので、たとえば手元のパソコンモニターをつけたままの状態でも延長出力先の映像出力のみをOFFすることができます。また、電源が入っているときの映像スルーアウト端子はバッファされますので、3分配器として使用することが可能です。

## 2. 使用例

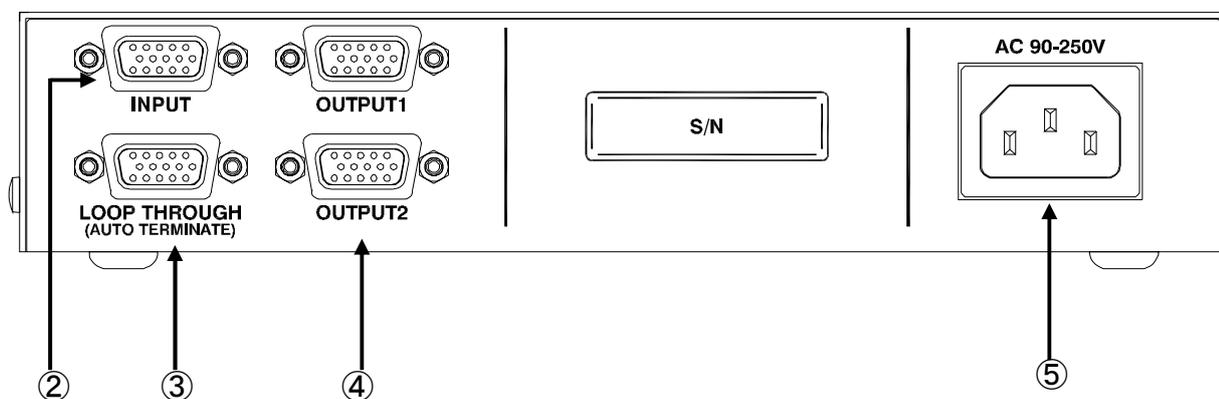
- ・グラフィックワークステーション等から、ビデオプリンタへの信号分配
- ・展示会、ショールーム等での、複数モニターへの信号分配
- ・会議室や、教室等で大型プロジェクタ等への信号分配
- ・モニター受け入れ検査や、同じ信号源で複数のモニターを比較する品質管理に

### 3. 各部の名称と説明

#### フロントパネル



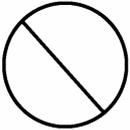
#### リアパネル



- |              |  |
|--------------|--|
| ① 電源スイッチ     | 電源のオン／オフをコントロールします。  |
| ② 映像入力コネクタ   | 映像信号の入力端子です。(高密度Dsub15ピン)                                  |
| ③ 映像ループスルー端子 | 入力PCのモニタを接続する端子です。電源OFF時でもこの端子からは入力信号が出力されます。(高密度Dsub15ピン) |
| ④ 映像出力コネクタ   | 分配された映像信号の出力端子です。(高密度Dsub15ピン×2)                           |
| ⑤ 電源入力       | AC 90～250V 50/60Hz ±3Hz                                    |

## 4. 使用時の注意事項

- ・入力電源はAC90～250ボルトです。電源投入の前に、電源電圧の確認をしてください。

	本機は通常のコンセント（交流 90～250V）以外の電源では使用しないで下さい。 火災や感電、故障の原因になります。
	感電などの事故を防ぐため、必ずアースをとるようにして下さい。 アースをつけたりはずしたりする時は、電源をコンセントからはずして下さい。 またアース先として水道管やガス管を使用しないで下さい。

- ・分配器に接続されたモニタに、正しく映像が表示されないときや、音声の出力が出ない時などは「故障かな？と思う前に」を参照ください。

## 5. コネクタの接続方法

・VAC-3001HNへの映像入出力には高密度Dsub15ピン(オス)コネクタのついた複合同軸ケーブルを使用してください。コネクタを接続する際は、ケーブル側のコネクタに付いているネジで本体とコネクタを必ず固定してください。



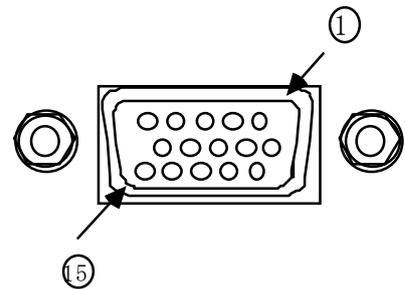
各ケーブルを接続するときは、必ず電源を切り、ケーブルのコネクタ部分を持って接続してください。ケーブル部分を引っばると、内部で断線したり、ケーブルが切れたりして故障の原因となります。電源部では、火災や感電の原因となる恐れがありますので、特に注意してください。

- ・映像信号入出力ケーブルは、ケーブル側のコネクタに付いているネジで必ず固定してください。
- ・ケーブルの線材やコネクタがVAC-3001HNの接続しようとする端子に適合するか、よく確認してからご使用ください。また、長さやコネクタ形状の異なるケーブルもご指定の仕様で1本から作成することができますので、お買い上げになった販売店を通してお問い合わせください。

### RGB 入出力コネクタのピン配列 (入出力共通)

コネクタ: 高密度Dsub15ピン(メス)

1	RED VIDEO	6	GND	11	NC
2	GREEN VIDEO	7	GND	12	NC
3	BLUE VIDEO	8	GND	13	H・SYNC
4	NC	9	NC	14	V・SYNC
5	NC	10	GND	15	NC



## 6. 仕様

型番	VAC-3001HN
出力チャンネル数	3ch (内 1ch は電源 OFF 時ループスルー出力)
映像周波数特性	300MHz にて-3dB 以内
入出力映像信号	アナログ R, G, B 1Vp-p, 75Ω
入出力同期信号	HS, VS/TTL
入出力コネクタ	高密度 Dsub15 ピン (メス)
ループスルーコネクタ	高密度 Dsub15 ピン (メス)
入出力適合ケーブル	高周波信号用同軸ケーブル
使用温度範囲	0 ~ +40°C
使用湿度範囲	20 ~ 90% (但し結露なきこと)
保存温度範囲	-20 ~ +80°C
保存湿度範囲	20~90% (但し結露なきこと)
電源電圧	AC90~250V, 50/60Hz±3Hz
消費電力	約 5W
外形寸法	210(W) x 42(H) x 100(D) mm (EIA ハーフラック 1U/突起物含まず)
質量	0.7kg
付属品	RGB ケーブル (1.8m)、電源コード

※付属の電源コードは本機専用品です。他の機器にはご使用にならないでください。

## 7. 故障かな？と思う前に

本機がうまく動作しない時などは、以下の点をご確認の上(株)アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部までご連絡ください。

- 本機および接続されている機器の電源は投入されていますか？
- ケーブルは正しく接続されていますか？
- ケーブルの接触不良はありませんか？
- 機器に適合した正しいケーブルを使用していますか？
- 接続している機器同士の信号規格は適合していますか？
- 表示装置(モニタなど)は正しく設定されていますか？
- 機器の近くにノイズの原因となるようなものはありませんか？

故障の連絡をする際には以下の点を事前にテストしてください。

1. 全てのチャンネルで同じ現象がでますか？  
-はい- -いいえ-
2. 本機を全く介さずに、純正のケーブルで接続したときは  
正常に動作しますか？  
-はい- -いいえ-

株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部

TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765

月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00



株式会社アイ・ディ・ケイ本社 営業部または技術部  
TEL (046)200-0764 FAX (046)200-0765  
月曜～金曜 AM9:00 ～ PM5:00

発行日 2011年03月02日 Ver.2.4.1\_E  
\* 本書は改善の為、事前の予告無く変更することがあります。  
\* 本書の無断転載を禁じます。